

アンナプルナ山群は7500m以上の峰を高い順番に1から4と名付け、最高峰の1峰(8091m)は標高世界第10位。1950年にフランス隊のモーリス・エリゾーグらにより登頂され、人類が足跡を刻んだ初めての8000m峰として有名です。



(白い壁 10/26日)

○トロンパス

マナンでゆっくり休養し、いよいよトロンパス(5416m)へ向けトレッキングを再開。ヤクカルカ(4050m)、トロンフェディ(4450m)へと向かう道すがらアンナプルナ2峰、3峰、4峰、ガンガプルナ、グレシャードームが連なって、大きな白い一枚の氷壁のようになっていました。

登頂日は1000mの登りとジョムソンまで足を延ばす都合から早朝2時半起床、-10度以下の凍てつく寒さの中をヘッドランプの明かりを頼りに3時半に出発し、日の出の頃には標高4900mに到達しました。気付くと結構高山病のせいか馬に乗って峠を越えるトレッカーが多いこと。この輸送がビジネスになるほど沢山の馬が行き来していましたが、こんな乗り物にはご厄介になりたくないものです。

我が隊はマナンで3泊入れたせいか快調に進み8時45分に全員峠に到着。至福の一時を楽しんでいるとKさんがIさんの鼻笛(ノーズフルート)に合わせてベートーベンの第九“歓喜の歌”を独唱。しかもドイツ語で!

2ヶ月早くこの曲を聴く事が出来て感激でした。

※アンナプルナ1峰はこの街道筋から見る事が出来ません。



(トロンパス 10/28日)



(トロンパス下山 10/28日)



○ジョムソン街道

トロンパスから一気に1700m下りムクチナート(3760m)へ。ここはヒンズー教とラマ教の聖地が並び立つ珍しい所です。ここからジープで空港の有るジョムソンへ。本来ここから飛行機を使えば簡単に起点のポカラへ移動可能ですが一周にこだわりジープでカリガンダキのこぼこ道を走り、昨年泊まったタサンロッジに1泊後、ポカラ郊外の日本の旅行社が経営するロッジに更に1泊。このロッジからは今迄見てきた山々を反対側から見る事ができ、ロッジの雰囲気と合わせ皆様大喜びでした。



(ダウラギリ1峰 10/30日)



(マチャプチャレ 10/31日)



追伸：写真の赤い花は蕎麦の花。日本でも最近増えてきましたがここネパールでは一般的で、特に鮮やかな紅い色の花を付けるのは今回旅をしたムクチナートからカリガンダキー帯の様です。

次回は今年を締め括るツアー「エベレスト街道 タンボチェ 11日間」をお届けします。